

6

水源環境の保全

1 河川流域を守る

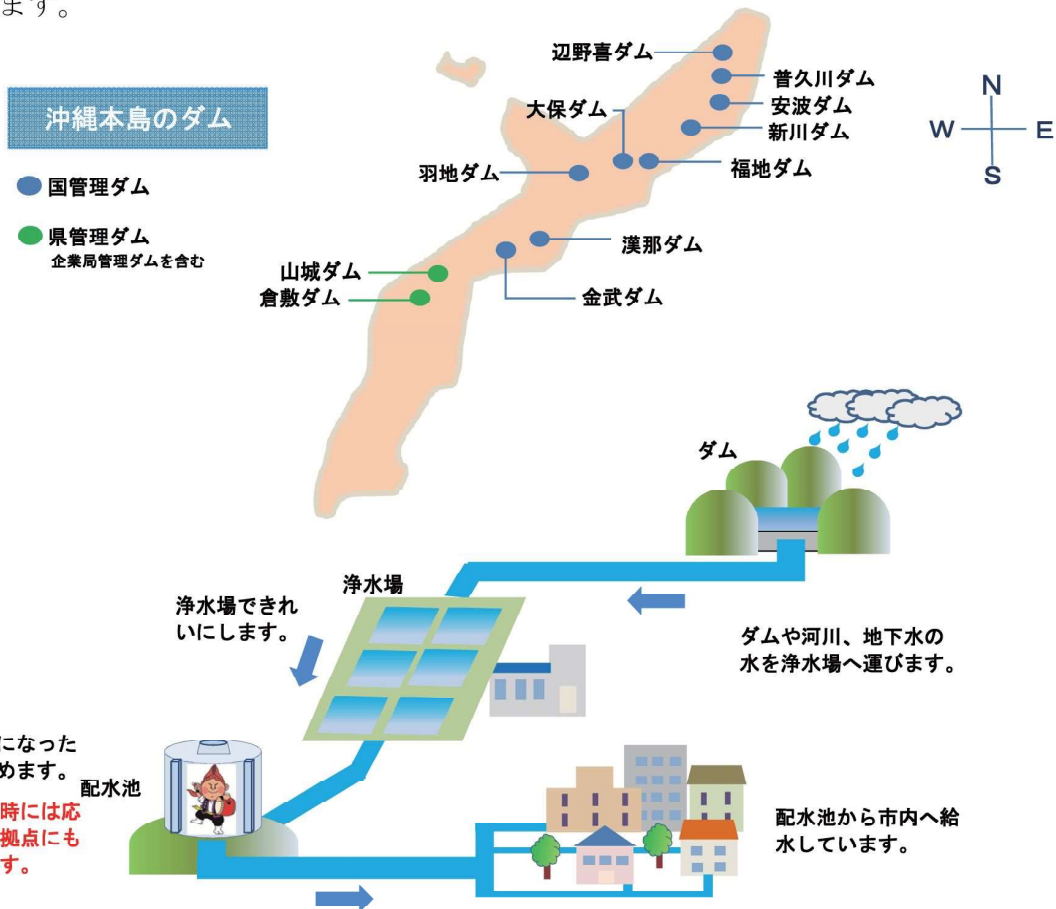
現状

沖縄県は、本土に比べ面積が狭く、大きな山地が少なく、河川延長も短く急こう配となっている為、降った雨が短時間で海へ流れてしまう地形となっています。

また、年間降水量のほとんどが梅雨時期や台風襲来期に集中しており、水を安定して確保することが難しい気象条件となっています。

沖縄本島の水資源は、国が管理している9つのダム（福地ダム、新川ダム、安波ダム、普久川ダム、辺野喜ダム、漢那ダム、羽地ダム、大保ダム、金武ダム）と県が管理している2つのダム（倉敷ダム、山城ダム）、県内の河川や地下水等があります。

しかし、少雨による渇水が続くと、ダムの貯水量や河川及び地下水からの取水量は極端に減少します。また、不法投棄等による河川水質汚染があった場合、河川からの取水が困難となり、私たちの日常生活に大きな影響を及ぼす恐れがあります。



6. 水源環境の保全

1. 河川流域を守る

安全

持続

沖縄市を流れる水源 比謝川

比謝川は、沖縄本島中部を流れ、本島最大の流域面積を持ち、中南部の水源として利用されています。沖縄市胡屋の 沖縄こどもの国(施設内の池) 付近を源流とし、市街地をゆるやかに蛇行しながらおおむね北へと流れています。嘉手納基地、嘉手納町、読谷村を經由し、東シナ海を終点としています。



比謝川の源流付近である沖縄こどもの国(施設内の池)



市内を流れる比謝川(越來城水辺公園)

これからの取り組み

良質な水源の確保・保全是、給水の持続性の確保にとって必要不可欠なものです。本市においても、比謝川流域沿いに立て看板を設置し、河川浄化等の啓発や比謝川流域の清掃活動等を毎年行っています。今後も関係機関と協力し、水源環境の保全に努めます。



水道局庁舎裏の比謝川流域の清掃活動



立て看板設置(市内5ヵ所)

【関連する計画や取り組みなど】

- 第4次沖縄市総合計画(基本構想 前期基本計画)
- 沖縄市環境基本計画(平成21年度)
- 水源地清掃活動